

DWIBS(ドゥイブス)検査とは？

MRIを使用して頸部から骨盤（首から足の付け根あたりまで）という広い範囲を撮影する**全身がん検査**です。

体幹部という、ほぼ全身を網羅することで、がんや病変の検索をします。この検査法は日本人医師によって提唱・開発された新しい方法です。

MRIは放射線を使用しませんので被ばくをする心配がありません。

ここがPET検査との大きな違いです。そのため検査を繰り返す必要がある場合も安心して受けることができます。

また注射をする必要もなく、PET検査のような検査後の安静も必要ありません。

※ DWIBSはMRI検査ですので検査の注意点はMRI検査に準じています。

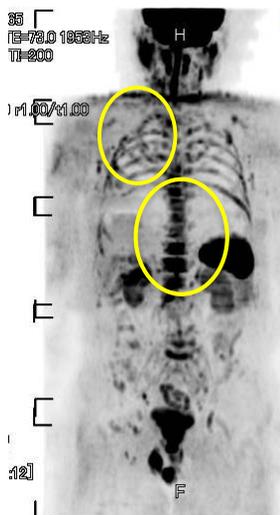
そのため、ペースメーカーや金属などが体内に埋め込まれている方は検査をすることはできません。

詳しくはMRI検査の注意事項をご覧ください(画像検査・診断のページ)

右尿管腫瘍の一例



全身骨転位の一例



DWIBSとPET-CTとの比較

	DWIBS	PET-CT
検査目的	全身の癌の検索	全身の癌の検索
被ばくの有無	なし	注射薬と放射線の2重の被ばく
注射の有無	なし	検査薬(放射線同位元素)を注射
食事制限	なし	検査前絶食やインスリン制限
検査時間	40-50分	20分
検査前処置	なし	注射後安静1時間→検査開始
検査後処置	なし。すぐに帰宅できます。	放射能が下がるまで待機
キャンセル	当日キャンセル可	注射薬を予め作るため費用発生
繰り返しの検査	可能	不可(被ばくの問題)
糖尿病患者	可能	検査制限があります
特に得意な臓器・疾病	大腸・乳房・悪性リンパ腫・泌尿器系	肺・大腸・脾臓・乳房・悪性リンパ腫
苦手(不向き)な臓器・疾病	白血病・肺・脾臓	白血病・膀胱・胃・食道・脳